

多様な社会とは何か、進路決定に向けて
—東京都豊島区立池袋中学校で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：昨年、2024年は、学校での出張授業が多かったようですね。どのような経緯で、学校に行っているのですか。

A：(1)はい。会員として参加している、公益社団法人経済同友会（東京）、公益社団法人栃木県経済同友会、群馬経済同友会の、3つの経済同友会では、学校や大学、教育委員会などに、会員である経営者を、無料で、講師として出張授業に派遣。「仕事とは何か」「学校で学んでおいた方がよいことは何か」等を話し、キャリア教育に役立てて頂こうという取り組みがあります。

(2)20年前に、東京の経済同友会で、墨田区の教育委員会や中学校校長会と連携し、この取り組みが始まったので、すぐに参加。とても有意義だったので、栃木県経済同友会、群馬経済同友会にも、出張授業のすばらしさをご紹介、活動がスタートしました。以来、3つの経済同友会で、講師の不足する学校が出た場合を中心に、出張授業に行かせて頂いております。最近は、出番が多く、ありがたく思います。

(3)6月25日は、岩手県産業教育振興会（専門高校の校長先生が対象）。宇都宮大学大学院工学研究科（7月1日）。足利市民活動センター（8月28日）。栃木県那須塩原市立三島中学校（10月22日）。中央大学附属高等学校（10月25日）。東京都足立区立第6中学校（11月1日）。栃木県益子町立七井中学校（11月8日）。栃木県足利市立富田中学校（11月16日）。群馬県伊勢崎市立赤堀中学校（11月28日）。作新学院大学（12月10日）。神奈川県横浜市立大綱中学校（12月13日）。栃木県立大田原東高校（12月20日）。東京都豊島区立池袋中学校（12月21日）。栃木県立学悠館高校（2025年1月17日）。東京都足立区立第10中学校（1月22日）。栃木県那須塩原市立黒磯北中学校（2月4日）などからお呼び頂いております。ありがたく思います。

Q：学校での出張授業ではどのような内容をお話しているのですか。例えば、池袋中学校ではどんな順序でお話をしましたか。

A：(1)東京の公益社団法人経済同友会を通じて、豊島区立池袋中学校から、第2学年138名の生徒と保護者数名を対象に「多様な社会に生きる」というテーマで、体育館で朝9時から10時まで、質疑応答10分を含め、1時間の講演依頼を頂きました。中学2年生が進路選択を考える上で、参考になるような、社会や働くことに対するヒントや助言を話すようにとのご依頼でした。また、自身の経験や失敗談も交え、モチベーションを高めるメッセージをとのご依頼もありました。

(2)そこで、生徒の皆様が、メモを取らなくても済むように、詳細な「レジュメ（講演会資料）」
「レッスンプラン（教案）」を、読みやすいように、QandA形式で作成。参加人数分印刷し、
講演会の数日前にお送りしました。

(3)学校では「アクティブラーニング」が行われていますので、一方的な話にならないように、
「ちょっとひと休み、コーヒブレイクです」のコーナーを、10分おきに設け、テーマに
沿い、自分の考えをまとめ書き記し、近くの友達に自分のことばで伝え、説明し、相手の考
えを聞いたうえで、お話し合いをするよう促しました。最後に、質問をお受けしました。

Q：どのようなお話をしましたか。

A：(1)「働くとは何か、仕事をするとは何ですか」

「働くとは、仕事すること。仕事とは、ものやサービスを、お客様に提供し、お客様の困っ
ていることや問題を解決することで、お客様のお役に立つこと。同じようなお客様は、世の
中にたくさんいらっしゃいますので、仕事とは、お客様や世の中のお役に立つこと。

(2)「これからの社会はどんな社会ですか。そこで求められる能力は何ですか」

①「知識基盤社会」②「グローバル化社会」③「課題山積社会」。各々の社会で求められる
のは、①「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」②「多様な集団で交流する能力」
③「高い志を持ち、自律的に活動する能力」

(3)「中学生・高校生として、将来に向け、身に着けておいた方がよいことは何ですか」

①「自覚をもって学ぶこと」「学習習慣」「読解力（辞書・新聞・読書・図書館に慣れ親し
む）」。

②「学校で学ぶすべての教科の内容（全教科、役立つからです）」「学校の勉強は、全教科、
全部役に立つので、学校の教科書、授業ノート、辞書・年表・地図は学校卒業後、処分し
ないで、一生学び続ける」。

③「効果の上がる学習方法」「5S（整理、清掃、整頓、清潔、躰）。「別の意味の躰（し
つけ）」、つまり、「美しい立ち居振る舞い（服装第一）」「美しい言葉遣い（です、ます）」
「元気なあいさつ。あいさつは、こちらからする」。

(4)「好きなことばは何ですか」

①「人生は青天井、一生青天井」。

②「一生勉強、一生青春」（相田みつを）。人生は青天井だが、一生、勉強し続けられない限り、
青天井にはならない。

③「自分の未来は自分で切り開く」

④「スポーツの3つの宝。練習は不可能を可能にする。フェアプレイ、よき友」（小泉信三）

Q：学習塾、予備校、私立学校の先生方にお伝えしたいことは何ですか。

A：(1)東京、栃木、群馬はじめ、全国の多くの経済同友会では、「仕事とは何か」「これからの
社会で求められる能力とは何か」「学生時代に身に着けておいた方がよいことは何か」「勉
強の意味は」などのテーマでの「キャリア教育」の支援のために、経営者を学校に、無料で
派遣しています。全国各地の経済同友会のHPをご覧ください。また、事務局とご相談の上、
どんどん、ご活用ください。お知り合いの学校にも、大いに、PRをお願いいたします。

(2)各経済同友会は学習塾・予備校には派遣をしておりますが、私によければ、お話させて
頂きますので御連絡ください。(0284-72-5945開倫塾)。

(3)学習塾・予備校でも、「キャリア支援教育」を行うと、塾生のモチベーションアップにつ
ながりますので、素晴らしいと考えます。頑張りましょう。

Q：最後に一言どうぞ。

A：今月も、僭越とは思いますが、先生方がお読みになれば、お役に立つ本を、ご紹介させて頂き
ます。

(1)一冊目は、ヨハン・ノルベリ著「OPEN、『開く』ことができる人・組織・国家だけが生き
残る」ニュースピックス、2022年4月27日刊です。特に、第2章「オープンな門戸」、第3
章「オープンな精神」、第4章「オープンな社会」は、圧巻、一推しです。原題の「OPEN、The Story
of Human Progress」の意味が実感できます。

(2)二冊目は、同著「資本主義が人類最高の発明である、グローバル化と自由市場が私たちを救
う理由」ニュースピックス、2024年9月30日刊です。原題は「The Capitalist Manifesto、Why
the Global Free Market Will Save the World」

(3)三冊目は、同著「進歩、人類の未来が明るい10の理由」晶文社、2018年4月30日刊です。
原題は、「Progress」

○いよいよトランプ大統領が再登場、世界はブロック経済に突入します。CLOSED化、OPEN
化の、選択と対応を迫られる時代に入ります。アメリカの保守系シンクタンク、Cato
Institute（ケイトー研究所）の研究者、ヨハン・ノルベリ氏の3冊の著書は、必ず、皆様
の参考になります。3冊とも山形浩生氏の名訳です。

(4)四冊目は、吉川英治作「宮本武蔵、全8巻」講談社吉川英治文庫、1975年6月1日刊です。
昭和10年8月23日から昭和14年7月11日まで、朝日新聞夕刊に、1013回にわたり連載し
た国民文学書。執筆中、一番参考にしたのが、宮本武蔵著「五輪書」と伝えられています。ど
ちらも「生き方」についての第一級の参考書、元気が出ます。

(5)五冊目は、宮本武蔵著「五輪書」岩波文庫、岩波書店1985年2月18日刊です。この「五
輪書」の一番の解説書が吉川英治著「宮本武蔵」です。現代語訳としては、佐藤正英校注・訳
「五輪書、宮本武蔵」ちくま学芸文庫、筑摩書房、2009年1月10日がおすすです。